

9月18日(火)、米子コンベンションセンターにおいて、連合鳥取執行委員・各地協役員等41人の参加のもと、「民主党 前原誠司政調会長との意見交換会」を開催し、連合鳥取が求める政策課題や産別課題について意見交換を行いました。



参加者からの意見発言



前原誠司政調会長

意見交換会の内容(要旨)

意見・要望	見 解
自動車関係諸税について、政権交代時の公約である暫定税率の廃止、取得税の廃止は消費税の増税とバスターであるとして受け止めている。	暫定税率廃止が果たせなかったことにお詫びする。リーマンショック後の税収の落ち込みが大きく影響している。2014年の抜本見直しの中で実施していきたい。
県下の物づくり産業は非常に厳しく、企業の合理化の中で大きな雇用が失われている。国の支援を求める。	金融緩和が必要だと考える。日銀・政府との協調のもとで他国との公平な関係を築く。問題意識はあり、しっかりと対応していきたい。
金融円滑化法の延期と中小企業が地域で生き残っていくための対策の構築を。	3月打ち切りとなることから、激変緩和対応策について現在検討中である。
継続協議となっている交通基本法の早期制定を求める。また、山陰地方の高速鉄道の実現を期待する。	交通基本法は国土交通省をあげて行う問題である。また高速鉄道については高速鉄道地方の過疎化、高齢化解消に向けてしっかりとがんばる。
民主党は勤労者、子育ての党と認識している。継続して欲しい。	女性が働きながら子供を育てる環境づくりに引き続き取り組む。
公務員制度改革について、地方交付税をシステムとしてどう見直していくか?	財源の地方化を進めていきたい。
TPP論議の進捗と課題についていろいろな考え方がある。未来の子供たちのためにも慎重な対応を。	自由貿易をどう考えるか。戦略をもって臨みたい。
組合員レベルにおいて“本当に民主党でいいのか?”説明できるメッセージを求める。	ねじれ状態になっていなければできていたことがたくさんある。この3年間でできなかったことに対しお詫びすると共に、引き続きの支援をお願いします。

主催者を代表して五十嵐会長は「連合が求める政策はもとより、現下の地方の雇用情勢や産別課題について意見交換を行う場としてい。連合の政策・制度も2009年8月の政権交代によって実現できたものが少なくない。問題はこれまでも自公政権が積み残した課題を現政権が行っていることとであり、自公政権に戻すことは許されぬ。」との決意を述べました。

続いて、前原政調会長の講演に移り、「公共事業費に對してメリハリのついた予算の削減を行い、社会保障の充実や高校授業料の無

償化、地方交付税の増額など前進を図り、税金の使い道を変えることができた。また、地方交付金の使途について、国がルールを押し付けるのではなく地方の自由とした。」など、民主党が政権交代以降実現した事項の説明がありました。さらに、「高速道路の無償化については、この財源を復興財源にまわすこととしてきたが説明不足だった。後期高齢者医療制度廃止後の新たな制度の在り方、年金の一元化など政権交代後3年たったが実現できていないものもある。だが、決してあきらめてはいない。」

と訴えました。その後、参加した役員と意見交換を行いました。役員からは私たちが求める「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、各産別が抱える課題や民主党に對する思いをしっかりと伝えました。

最後に民主党の湯原俊二衆議院議員が一ねじれ国会の中で道半ばになっている事項を一つひとつ検証し、続けていくことに理解を求め、「とあいさつし、有意義な意見交換会を閉会しました。」

「2013年度連合鳥取政策・制度要求」鳥取県各部局と交渉を実施

大震災から1年半経過したなか、連合は「復興・再生に全力を尽くし『働くことを軸とする安心社会』につなげよう」と、各種取り組みを進めています。

そして、被災地の復興・再生をはかり、日本全体の再生につなげていくことが喫緊かつ最重要であり、オールジャパン体制で役割を果たすことが地域社会にも不可欠だとの考えで、8月10日(金)、平井鳥取県知事に「2013年度連合鳥取政策・制度要求書」を提出しました。

その後、9月10日(月)、11日(火)の2日間にわたり、奥田剛労働政策局長と専従役員、各産別からの専門事項の策定責任者13人が出席し、連合鳥取の提出した8つの重点政策に係わる31本の個別項目について、それぞれの項目毎に10の関係部局担当者と要求実現・課題解決に向け交渉を行い、一定の理解を得ることができました。



写真左より/9月10日(月)、11日(火)の交渉の様子

「構成組織書記長・事務局長会議」で意見交換実施

連合鳥取は9月12日(水)、ホープスターとっとり(鳥取市)で、連合の重点課題について理解を深めるとともに、今後の連合鳥取の活性化に向けて意見交換を行うことを目的に「構成組織書記長・事務局長会議」を開催しました。12構成産別、1直加盟、事務局を含め20人が参加し、活発な意見交換の場となりました。

開会にあたり田中穂事務局長は「連合鳥取の活動全般について意見をいただく場として初めての試みである。後ほどの意見交換の場で活発なご意見をいただきたい。」とあいさつし、「①組織：各組織の組織拡大・縮小の実績報告と財政」「②政策：2013年度連合鳥取政策・制度要求(31項目)説明と政策実現に向けてのシンポジウム開催の考え等」「③政治：民主党動向説明と湯原・川上両議員の対応等」「④学習会等の年間行事」の4点について課題提起しました。

続いて、連合総合組織局総合局長の山根木晴久さんを講師に迎え、「復興・再生に全力を尽くし、『働くことを軸とする安心社会』につなげよう」を演題に講演を行いました。

3・11大震災における連合救援ボランティアの意義や日本社会の中間層の崩壊による格差の二極化と自殺者数が3万人を超えている現状、社会問題化している孤独死について話をされました。また、労働組合の存在感が低下しており、職場においてもチームワークの低下により現場の総合力、企業競争力への影響が危惧されていると問題視されていました。

その後、意見交換の場に移り、構成組織の書記長、事務局長から当該労組の課題・思い等意見が出されました。組織拡大の難しさ、非組合員に対する加入に向けての方策、組合員の意識改革、次期衆議院選挙対応など忌憚ない意見が交換されました。



「第21回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会」を開催

連合鳥取は、構成組織の組合員相互の親睦と交流を深め、連帯の強化を図る取り組みとして、毎年この時期に「連合鳥取杯親睦ゴルフ大会」を開催しています。今年も、9月15日(土)、旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部(鳥取市)において、第21回大会を74人の参加により盛大に開催しました。

◇結果 (敬称略)

優勝 吉田 祐介(電機連合) GROSS:81 HDCP:9.6 NET:71.4
準優勝 森田 典之(電力総連) GROSS:92 HDCP:20.4 NET:71.6
第3位 山崎 睦(運輸労連) GROSS:88 HDCP:15.6 NET:72.4

また、大会の中で、社会貢献活動の一環として、選手のみなさんのご理解のもとチャリティーを行っており、今大会で56,650円が集まりました。用途については、別途、執行委員会に報告することとします。



優勝の吉田さん(左)と五十嵐会長

2013年度活動方針・役員を決定 —鳥取高退連「第20回定期総会」を開催—

鳥取高退連は「第20回定期総会」を9月19日(水)、弓ヶ浜荘(米子市)において、総会構成員47人の参加により開催しました。

総会開催前に中央より、日本高齢・退職者団体連合の木村寛事務局次長を講師に招き、「退職者連合が期待する社会保障と対政府要求の情勢」について講演いただきました。高齢者医療制度における「後期高齢者医療制度」について、「この制度は75歳年齢差別制度である。この制度の見直し・廃止なくして何が社会保障制度改革か。なんとしても見直し・廃止なくてはならない。そのため、今後、中央・地方一体となって取り組んでいきましょう。」との話がありました。

続いて、「第20回定期総会」を開催し、「2012年度の活動の総括」「2012年度決算報告」の承認が行われ、2013年度の活動方針として「高退連組織の拡大」「後期高齢者医療制度の見直し・廃止をはじめとする各種制度要求の実現」「親睦・交流をはじめとした鳥取県における取り組み」について確認が行われました。その後「役員の変更」が行われ、新年度の会長に齋木兵治(JR西労組退職者会)さんを選出し、新会長の「団結ガンパロー」により終了しました。

また、今回は結成20周年を記念する総会でもあり、例年開催する昼食懇親会を「結成20周年記念レセプション」として開催するとともに、記念誌「20年のあゆみ」を発刊しました。

(寄稿 鳥取高退連事務局長 山田敏明さん)



講師:
木村事務局次長



新役員(左から)齋木会長 山田事務局長



ゴミや資源の有効活用について考える —青年委員会「列島クリーンキャンペーン」—

9月23日(日)、「リファーレンいなば」にて、連合鳥取青年委員会「列島クリーンキャンペーン」を開催しました。約40人が参加し、施設説明を含めた講演と牛乳パックを再利用した紙すき体験学習を行いました。

講演では、リファーレンいなばとはどういった施設なのかということや不燃ごみの分別処理方法などをビデオを見ながら学習しました。紙すき体験では、牛乳パックを水に溶けるまで加工した物を紙すきをして乾かし、一人ひとりが個性のあるハガキに仕上げました。

今回の列島クリーンキャンペーンでは、私たちが普段何気なく出している不燃ごみがどういう風に処理やリサイクルされているのかが分かり、また意外と知られていない捨てる際に気をつける事などを教えてもらい、改めて、家庭から出るゴミの問題や資源の有効活用について考え直す事ができたと思います。

(寄稿 青年委員会幹事 野津 達也さん)



紙パックでのハガキづくり

Information

連合鳥取、東部・中部・西部地協 2012ディーセントワーク街宣行動	連合鳥取 「第8回セイフティネットワーク集会」	東部地協 「自然環境保全活動2012」	青年委員会 「ユースターレクリエーション」
<p>□実施日 10月17日(水)</p> <p>〈東部〉 18時00分～ 鳥取市内</p> <p>〈中部〉 18時30分～ あじそうパール店</p> <p>〈西部〉 18時30分～ JR米子駅前</p>	<p>□日時 10月23日(火) 14時00分～ 16時30分</p> <p>□場所 紙パ連合王子製紙新労働組合・ 王子製紙(株)米子工場</p>	<p>□日時 10月27日(土)</p> <p>□集合 8時30分/JR鳥取駅南 (フコク生命ビル前)</p> <p>□解散 12時00分(予定)/同上 ※貸し切りバス利用</p> <p>□場所 「旧岩美鉱山坑廃水処理場」他 (若美町荒金)</p>	<p>□日時 11月11日(日) 受付9時00分～ 開会9時30分～ 昼食後、解散(予定)</p> <p>□場所 はわい温泉「羽衣」</p>
<p>□内容 街宣、ビラ・ティッシュ配付</p> <p>〈ディーセントワークとは〉 1999年にILOの理念・活動目標として示したもの。具体的には「権利が保護され、十分な収入を生み、適切な社会保障、社会対話が確保された生産的な仕事」と説明。 日本語では「働きがいのある人間らしい仕事」と訳されています。</p>	<p>□内容 紙パ連合王子製紙新労働組合および王子製紙(株)米子工場の労働安全衛生の取り組みについて紹介していただき学習を深めるとともに意見交換(会社側、組合役員出席)、工場見学等を実施する。</p> <p>□参加範囲 連合鳥取執行委員(代理参加可)</p>	<p>□内容(9時10分～11時20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●荒金供養塔の沿革説明【30分】 ●旧岩美鉱山坑廃水処理場および大坑道見学【70分】 <p>□募集人数 40人(定員になり次第締め切ります)</p> <p>□その他 雨天の場合は、11月3日に延期します。 ※詳しくは東部地協事務局までお問い合わせください。</p>	<p>□内容 グラウンドゴルフ&バーベキュー</p> <p>※詳しくは連合鳥取事務局までお問い合わせください。</p> 

平和フォト特集

平和行動 in 根室



2012平和ノサップ集会



(2012.9.8-9/3人参加)

鳥取県最低賃金改正のお知らせ

鳥取県最低賃金《2012年10月20日発効》

1時間 653円(7円アップ)

鳥取県最低賃金は、原則として業種や規模及び非常用、臨時、アルバイト・パートタイマーなどの雇用形態にかかわらず、鳥取県内の事業所で働くすべての労働者とその使用者に適用されます。

次の賃金は、最低賃金額の算定には含まれません。

- ①精皆勤手当、通勤手当及び家族手当
- ②臨時に支払われる賃金
- ③1月を超える期間ごとに支払われる賃金
- ④時間外労働、休日労働及び深夜労働の割増賃金

○産業別最低賃金

電気機械器具製造業	735円(1時間) <small>(2012年1月27日発効)</small>	2012年度改正に向けて準備中
各種商品小売業	695円(1時間) <small>(2012年2月9日発効)</small>	

詳しくは鳥取労働局労働基準部賃金室(0857-29-1705)、または最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

“ザ・議員”

興治 英夫 鳥取県議会議員

2月定例会は、農業問題について県の取り組みを求めました。戸別所得補償を活用した、飼料米・飼料稲の生産拡大、農業後継者への支援の拡充、耕作放棄地対策の推進、農業・農村の6次産業化の取り組みの後押しなどについて、知事の見解をいただきました。

6月定例会は、今年度いっぱい大学進学のための専攻科が廃止される倉吉東高で、PTA・同窓会による補習科設置の動きがありますが、それへの理解と協力を求めました。

9月定例会は、会派「絆」の代表質問を行いました。全部で16項目。日本海国土軸構想の具体化、公共事業の抑制基調の見直し、住民投票制度、いじめ問題への対応、国際観光の推進、中部地区への企業誘致などについて、知事と議論しました。

これからもみなさまの声を、県政に反映させていきます。



(中央：興治議員)

森 雅幹 鳥取県議会議員

この1年間議会改革を求めて活動してきました。

ようやく「とっとり県議会だより」を発行いたしました。すでに9月の「県政だより」とともに各家庭に配布されています。あわせて、みなさんにお約束していた「議案の賛否の一覧表」を載せることができました。少しは県議会の活動がみてもらえるものと思います。また、完璧ではありませんが、議会の基本理念や役割を県民の皆さんに約束する議会基本条例を制定しました。ご覧ください。

※鳥取県議会HPからもご覧いただけます。

HPアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>



6月議会で質問(6.22)

てんてんてんてん

以前、元WBA・WBC世界スーパーウェルター王者の輪島功一さんがTVで話をされた記憶がある。ボクシングのスタイルも言動も独特であったが、考え方に共感を覚えた▼「自分はわざと異色な言動をとっている」。それは、その言動に対する相手の反応が面白いらしい。バカにする人、誠実で普通に接してくる人、様々である▼この人は変わってると思う人やバカにしてくる人は、その程度の人らしい。相手がどのような人であれ誠実に接してくる人が本当に付き合っていける人らしい▼世界王者の話だから説得力がある。学校でのいじめや職場でのパワハラなど、ニュースで取り上げられない日がないくらいだ。本当は心が寂しい人だろうと推測するが事態は大問題である▼そのような世の中だからこそ、みな「手をつなぐ」ことを大切にしていききたい。

(蔵人)



再生紙を使用しています